

秋田市子ども・子育て未来プラン第1部第3章1基本理念新旧対照表

第4次プラン（新）	第3次プラン（旧）
<p>第1部 総論編 第3章 計画の基本的な考え方 1 基本理念</p> <p>本市では、これまで、こどもの健やかな成長とこどもを生き育てやすい環境づくりを社会全体で推進していくことを目的とした第3次プランに基づき、<u>こども・子育て支援を総合的に推進してきており、令和6年2月14日には、市民の笑顔があふれるまちづくりに取り組んでいくことを目指す「笑顔あふれるこどものまち宣言」を行いました。</u></p> <p><u>第4次プランにおいては、第3次プランの基本理念を継承しながら、次代を担う子どもたちが健やかに育ち、若い世代が将来に展望を描き、希望を抱くことができる社会をつくるために、本市のこども・子育て支援を推進することとします。</u></p> <p style="text-align: center;">支え合う すこやか子育て 夢ある秋田 ～<u>笑顔あふれるこどものまち</u>～</p> <p>わたしたちは、未来を担う<u>こどもやこどもを</u>生き育てたいと願う若い世代に、<u>将来への希望を抱くことができる</u>秋田市の姿を示していかなくてはなりません。</p> <p>誰もが、仕事や家庭、地域など各場面において、充実した生活を送ることができる社会の実現が望まれます。</p> <p>そのためには、女性も男性も、青年期や子育て期、中高年期といったライフステージごとの様々な状況にある方々に寄り添い、様々な生き方が選択・実現できるように、<u>こどもを安心して</u>生き育てられる環境を整えていきながら、<u>わたしたちみんなでワーク・ライフ・バランスを推進していく</u>ことが必要です。</p> <p>また、明日を担い、未来を築く<u>こども一人ひとり</u>が権利の主体であることを尊重し、<u>子どもたちが健やかで幸せに成長することは、これからの秋田の発展には欠かせないこと</u>です。</p> <p><u>こどもや子育て当事者の意見を聞き、こどもにとっての最善を第一に考え、こどもの育ちを見守るとともに、こどもを、生み、育む家庭とその一人ひとりを地域や社会で支えあう環境を整える</u>ことが、少子化に臨む、わたしたちみんなの課題となっています。</p> <p><u>地域社会における企業、学校、関係機関等の連携を強化し、こどもが、笑顔で、安全に、安心して、健やかに育ち、こどもを、生み、育てることに夢や誇りを持つことができる「笑顔あふれるこどもの</u></p>	<p>第1部 総論編 第3章 計画の基本的な考え方 1 基本理念</p> <p>本市では、これまで、こどもの健やかな成長とこどもを生き育てやすい環境づくりを社会全体で推進していくことを目的とした第2次プランに基づき、<u>子ども・子育て支援を総合的に推進してきました。</u></p> <p><u>第3次プランにおいても、第2次プランの基本理念を継承し、本市の子ども・子育て支援を推進することとします。</u></p> <p style="text-align: center;">支え合う すこやか子育て 夢ある秋田 ～<u>みんなで育むかがやく笑顔</u>～</p> <p>わたしたちは、未来を担う<u>子どもや子どもを</u>生き育てたいと願う若者に、<u>夢と希望が持てる秋田市の姿を示して</u>いかなくてはなりません。</p> <p>誰もが、仕事や家庭、地域など各場面において、充実した生活を送ることができる社会の実現が望まれます。</p> <p>そのためには、女性も男性も、青年期や子育て期、中高年期といった人生の各段階（ライフステージ）において、様々な生き方が選択・実現できるように、<u>子どもを安心して</u>生き育てられる環境を整えていきながら、<u>わたしたちみんなで「仕事と生活の調和」がとれた社会を目指していく</u>ことが必要です。</p> <p>また、明日を担い、未来を築く<u>子どもたちが、その一人ひとりの生命が尊重され、ひとしく心身ともに豊かで健やかに育つことは、これからの秋田の発展には欠かせないこと</u>です。</p> <p><u>子どもにとって「いちばんの幸せ」は何かということ</u>を「<u>子どもの視点</u>」から考え、<u>子どもの育ちを見守るとともに、子どもを、生み、育む家庭とその一人ひとりを地域や社会で支えあう環境を整える</u>ことが、少子化に臨む、わたしたちみんなの課題となっています。</p> <p>「市民」「地域」「企業」「行政」の協働によって、<u>子どもが、笑顔で、安全に、安心して、健やかに育ち、子どもを、生み、育てることに夢や誇りを持つことができる「まち」をみんなで育むこと</u></p>

「まち」をみんなで育むことが、次代に対してわたしたちが果たさなければならない責任なのです。

が、次代に対してわたしたちが果たさなければならない責任なのです。